

## 研究経過報告（平成4年9月～平成6年8月）

田 畑 治

### 1. カウンセリング過程と<sup>メンタル・ヘルス</sup>精神健康の研究

〔著書・編著〕

治療効果およびその測定. 氏原寛・小川捷之・東山紘久・村瀬孝雄・山中康裕編. 『心理臨床大事典』培風館, 225-230頁, 1992.

グループカウンセリングにおけるカウンセラーの変容. 原岡一馬編『人間の社会的形成と変容』（第IV部心理臨床における人間の形成と変容, 第20章）. ナカニシヤ出版, 226-244頁, 1993.

クライアント中心療法. 岡堂哲雄編『心理面接学—心理療法の基本 III—2.』. 垣内出版, 150-177頁, 1993.

老いと心. 名古屋大学公開講座委員会編『長寿を考える』第一法規出版, 22-35頁, 1993.

〔論文〕

日本における心理療法の最近の動向. 緒賀聡と共著. 『心理臨床—名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要』第8巻, 15-21頁, 1993.

殺人, 死体遺棄被告人石〇〇也の鑑定書. 名古屋地方裁判所岡崎支部, 1993年9月4日提出. (1993年3月28日判決)

啓発普及手法の開発・評価に関する研究(打田和治・加藤治・他9名). 平成5年度厚生科学研究費補助金臓器技術臨床研究開発事業「臓器移植の社会的問題に関する研究班総合報告会報告書」, 39-54頁, 1994.

心理面接の有効性の拡大をめぐる<巻頭言>. 『心理臨床—名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要』第9巻, 1-2頁, 1994.

わが国のクライアント/パースン・センタード・アプローチ及び体験過程療法の現状と課題をめぐる, 伊藤義美と共編. 『心理臨床—名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要』第9巻, 27-41頁, 1994.

現代人の心の健康—カウンセリングを中心に—. 『いしかわ精神保健』, 第35号, 2-12頁, 1994.

〔口頭発表〕

日本における心的外傷後ストレス障害に関する心理臨床学的研究. 世界精神保健連盟1993世界会議抄録集, 182頁, 1993.

心理療法における日常性と非日常性. 日本心理臨床学会第11回大会(日本大学文理学部)自主シンポジウム. 伊藤義美と共同企画. 1992.

### 2. 心理臨床家の養成, 教育・訓練の問題

〔著書〕

諸外国の現状. 1節 アメリカ合衆国における臨床心理学の教育訓練. 河合隼雄監修, 齋藤久美子・鎌幹八郎・藤井虔編『実践と教育訓練』（臨床心理学 第4巻）, 創元社, 271-288頁, 1994.

4. ケースに学ぶ(小林正幸氏と安東末廣氏のケーススタディ(小学生)へのコメント). 上里一郎編『行動療法ケース研究—登校拒否II』岩崎学術出版社, 50-54頁, 1993.

〔論文〕

アメリカ合衆国カリフォルニア州におけるカリキュラム. 臨床心理士養成のための大学部・大学院カリキュラム(資料3.)『心理臨床学研究』, 第11巻特別号, 55-57頁, 1993.

ある心理臨床家の「失敗」考. 『心理臨床』（星和書店）, 第6巻2号, 84-90頁, 1993.

藤沢論文へのコメント—母親の内的変容と長女の内的変容の妙味. 『臨床心理事例研究—京都大学教育学部心理教育相談室紀要』第19号, 263-265頁, 1992.

大上成浩・吉村晴美・佐々木直美論文へのコメント(小集団における広島原爆被爆者の心理特徴に関する研究(第二報)). 『広島修道大学臨床心理学研究』第3号, 69-70頁, 1993.

諸富論文へのコメント(「人とうまくかかわれないことに苦しむ女子学生の事例—「クライアントセンタード」をカウンセリングの実践原理として」). 『筑波大学臨床心理学論集』第9集, 49-50頁, 1993.

大学院におけるスーパーヴィジョンに関する調査. 緒賀聡・星野和美と共著. 平成3・4年度文部省大学教育方法改善経費『大学院独立専攻(発達臨床学専攻)における臨床的教育・訓練方法の追跡的研究』報告書, 1993.

カウンセリングにおけるカウンセラーの応答の変化—非言語的刺激的の違いによるカウンセラーの反応選択. 山本眞利子と共著. 平成3・4年度文部省大学教育方法改善経費『大学院独立専攻(発達臨床学専攻)における臨床的教育・訓練方法の追跡的研究』報告書, 1993.

〔口頭発表〕

カウンセラー養成の諸問題—2. 臨床心理学の立場か

ら一. 日本カウンセリング学会第26回大会発表論文集(明治学院大学), 12頁, 1993.

### 3. 学生期, 青年期心理, 学生相談・グループアプローチの問題

#### 〔著書〕

生徒指導と学生相談. 久世敏雄編『現代青年の心理と病理』(第4部 歪む青年の心とその援助, 第13章). 福村出版, 206-222頁, 1994.

#### 〔論文〕

SPS と SPS 一学生生活を支え, 守る二つの制度〈巻頭言〉. 名古屋大学学生相談室紀要, 第4号, 1-2頁, 1992.

名古屋大学における学生相談ネットワーク形成のための基礎的研究—適応援助活動に関する学部教官への面接調査(森田美弥子・鶴田和美と共著). 名古屋大学学生相談室紀要, 第4号, 35-43頁, 1992.

3. ファシリテーターの感想文. 再び我が身をグループの中において. 自己発見のための合宿セミナー(人間関係体験セミナー)の報告(鶴田和美・森田美弥子・伊藤義美と共著). 名古屋大学学生相談室紀要, 第4号, 53-57頁, 1992.

小さな喪失ということ—その意味と感情・行動〈巻頭言〉. 名古屋大学学生相談室紀要, 第5号, 1-2頁, 1994.

グループの中に溶けこむということ(ファシリテーターの感想文). 自己発見のための合宿セミナー(人間関係体験セミナー)の報告(鶴田和美・森田美弥子・池田博和と共著). 名古屋大学学生相談室紀要, 第5号, 64-65頁, 1993.

シンポジウム「SPSに期待するもの—アメリカの大

学との比較」. 第30回全国厚生補導研究集会報告書(鳥取大学), 57-109頁, 1992.

#### 〔口頭発表〕

アメリカの大学における学生サービス(シンポジウム「SPSに期待するもの」)第30回全国厚生補導研究集会. 鳥取大学, 1992.

### 4. 教育臨床, 教育的人間関係の問題

登校拒否児の適応を支援(1)登校拒否児の適応に関する調査研究(協力者会議). 国立中央青年の家所報, No.39, 23-29頁, 1993.

### 5. その他

名古屋大学における自己点検・自己評価実施について—2つのケーススタディ報告. 第18回コミュニティ心理学シンポジウム. 新潟大学人文学部/越後湯沢. (口頭発表), 1993.

面接 2. 平成5年度腎移植推進員研究テキスト. (社団法人)腎臓移植普及会/厚生省. 49-51頁, 1993.

老いと心—心の豊かさを求めて. 第5回全国生涯学習フェスティバル主催事業. 大学連続公開講座—クオリティ・オブ・ライフを求めて. 1993.

てらぺいあ「いのちのつながりのひろがり」. 『精神療法』第19巻6号, 529頁, 1993.

辞典項目: ロジャーズ. 森岡清美・塩原勉・本間康平編集代表. 『新社会学辞典』, 有斐閣, 1530頁, 1993.

書評: ジェラルド・イーガン著 福井康之・飯田栄訳 熟練カウンセラーをめざすカウンセリング・ワークブック. 創元社. 1992. 『精神療法』第19巻第4号(通巻77号), 84-85頁, 1993.

## 研究経過報告

速水敏彦

### 1. 「外発的動機づけと内発的動機づけの間」に関する研究

2. 3年程前から外発的動機づけと内発的動機づけという二律背反的な定義の仕方を改める必要を感じている. その実証をすべくデータを収集しているところであるが, 結果の一部は第36回日本教育心理学会総会で発表した. また, その考え方については下の雑誌にもふれた.

速水敏彦 1994 やる気のでやらかな構造 教育と医学 慶応通信 4-9

### 2. 自己成長力に関する研究

日生財団の助成による西田氏(名古屋大学), 坂柳氏(愛知教育大学)と共同研究で, 昨秋第35回日本教育心理学会では, 自己成長力検査の作成について報告した. そして発達的变化の検討も加えた形で本紀要に原著論文